

Working mother

ワーキングマザー



「働き方」を 考える仕事

林 沙織さん (36歳)

- 家族構成 / 夫、子ども2人の4人家族
- お子様の年齢・預け先(学校)
長男(5才)保育園、次男(2才)保育園
- お仕事
株式会社クリエアナブキ
スタッフコーディネーター
- 勤務時間(日数) / 9:00~17:00 週5日
- 勤務歴 / 11年目(うち約2年産・育休)

🕒 タイムスケジュール 🕒

- 06:00 起床
- 07:00 朝食
- 08:00 夕食下ごしらえ、掃除
- 09:00 出勤
- 12:00 昼食
- 17:00 退勤・お迎え
- 18:00 帰宅
- 19:00 夕食・子どもと遊ぶ
- 20:00 入浴
- 21:00 寝かしつけ(一緒に寝ることも)
- 22:00 起きていたら自由時間
- 24:00 就寝



自分の経験から興味を持った業界へ

大学卒業後、地元である広島の金融機関に就職。銀行での仕事はやりがいや楽しさも感じていましたが、当時は自己分析ができていなかったのか「自分に合っているのか?」と感ずることも多くありました。ずっとお付き合いしていた夫との結婚を考えていたこともあり、約2年勤務したのち愛媛で仕事をすることを決意。自分が悩んだ経験から、いろんな仕事や働き方を知りたいと思い、人材サービス業の株式会社クリエアナブキに入社しました。入社後はスタッフコーディネーターとして、派遣の登録や仕事紹介、スタッフさんのフォローやキャリアアカウンティングなどを行っています。

2度の産・育休を経て

2012年に第一子を出産。当社のスタッフコーディネーターとして産休をとったのは私が初めてだったかもしれません。産後のことを考えると不安はありましたが、仕事を続けることしか考えていませんでした。復帰したところ雇用制度が変わったこともあり、現在はフルタイムパートという形をとっています。帰宅後の時間を有効に使うため、平日は夫に保育園送りをお願いし、朝のうちに家事や夕食の準備、休日は食材の下ごしらえをしておくよう工夫しています。一方で手抜きDAYを作り、一品で済ませたりお惣菜を買ったりもしていますよ。正社員として働くことに憧れはあるものの、急なお休みや時間の関係から、なかなか仕事量をこなせていないのではと悩むこともあります。勤務できる時間には全力で仕事をするように心がけ、自分の仕事の状況が分かるよう、情報の共有や履歴を残すようにしています。

母という同じ立場を生かしたコーディネーターに

いろんなママのお話を聞く機会がありますが、「働く」ということに対してとてもまじめに考えている方が多いなと感じます。数年前に比べて育児に理解のある企業も増えましたし、働く側から声をあげることも大切だと実感しています。当社も現在では、'時短'制度や、社員も派遣スタッフさんも利用できる'病児保育利用無償'制度ができ、より働きやすくなりました。いろんな働き方があるし、それぞれにメリット・デメリットもあります。「今選んだ働き方でも今後のライフスタイルに合わせて変えていくことができる!」と、もっと柔軟に考えられるといいかなと思います。働き方については私も常に考えているテーマです。これからも、一歩踏み出す勇気が出ない方や働き方に悩む方のお役に立てるよう成長していきたいです。

NPO法人ワークライフ・コラボの

シゴト×ライフスタイル

★ポイントはここ★

子どもが小さいと、体調を崩してしまうこともしばしば。普段から周りや情報共有したり、「お互い様」と助け合い、チームでお仕事をされているのがお話を聞いてよく分かりました。

ご自身も常に「働き方」について考え、悩んでいる林さんだからこそ、同じく子育てをしているお母さん方に寄り添ったコーディネートができていたのだなと思います。クリエアナブキさんには子連れでも相談できるようなキッズスペースもありましたよ!

今回の取材担当

渡部 文

5歳と3歳の娘の母。仕事はフレックスタイム制を使い、趣味の三味線や幼稚園での絵本の読み聞かせを楽しんでいます。ライフフィットに前向きに取り組み中。



イベント・各種情報アップしています!

[FB] ▶ <http://www.facebook.com/worcolla>

[HP] ▶ 「ワークライフ・コラボ」で検索